

松風

平和学園小学校
同窓会連絡誌

〒ヶ崎市富士見町5-2
電話 0467 (82) 0093

一九八一年夏、 伝統のある平和学園小学校に、あたらしい一ページを加える現役・OBの教師や同窓生の皆さまの親睦連絡広報誌がまず、先生方の協力によって生まれることになったことは、たいへんうれしいことです。

さて、皆さま方すでに御承知のとおり、私たち（皆さん方をふくめて）の小学校の伝統の第一は、『一人ひとりを大切にすること』という先生方、職員、父母全体の姿勢、雰囲気ではないでしょうか。そして、児童（横のツナガリとしての子どもたち）みんなの意識に右の表現に似た表現を与えるなら、みんなが、みんなを大切にすること、ということになるのでは、と思います。

平和学園小学校は、その前身の白十字会林間学校創立以来、「キリスト（教）精神」を根幹として、右の伝統を培って来た、といえるでしょう。……それゆえに、卒業生はすべて個性的であり、自由に生き、しかも思いやりの心を失わない、ゆとりの持主なのである。

りますまいか。

最近の教育は「ゆとりと充実」をめざしている、といわれます。じつは、これを「先取り」していたのが平和学園（小学校）の教育だったのではないのでしょうか。

一人ひとりを大切に みんながみんなを大切に

平和学園小学校 小杉英夫 校長

小学校の近況報告

(一) PTAのご協力でお話ぶくろの会員の母さんが、毎月、お話に来てくださったり（低、中学年）英語の時間に米人青年がコーチ（？）に来てくださったり（高学年）の『ゆとり』のある学びをしています。

(二) 去年、今年と二年連続、合唱部がNHK音楽コンクールに参加しました。今秋10月20日には、

茅ヶ崎市民文化会館小ホールで平和学園創立35周年記念、と銘打って『小学校音楽会』をひらきます。（午後一〜三時予定）わが小学校の特色の第一は『芸』の教育かと思えます。12月17日には大ホールで平和学園全体のクリスマス・ページェント、礼拝をおこないます。

学園の「宗教教育」の一頂点を市民生活の場で公開することになります。

(三) 小学校での「統合教育」については数年の経験をふまえ、国際障害者年の今年度内によりよい方針方を打ちたてるべく努めております。

まだまだご報告したいことがあります、紙面の都合で割愛いたしました、最後に児童募集についてお願いいたします。

夏休みの読書：の一冊として、学園長（土屋先生）も校長（私小杉）も、主任（野口先生）も、『窓ぎわのトットちゃん』（黒柳徹子著、講談社刊）を読んでいます。

トットちゃんの学んだ小学校は、いくらか平和学園小学校に似ています。

こんなお勤めのしかたで、母校「平和小」をご紹介いただけませんか。

神奈川県知事の長洲（一一）さんは、『騒然たる教育論議を』提唱されたそうですが、わたしは同窓生の皆さま方とのへなごやかな・真剣な教育論交：談論風発の機会のより多からんことを望んでおります。

親子三代平和つ子 平和つ子やがて父母祖父母なり

こんな夢を、ぜひ「正夢」としてください。

心に残る日々

三十七年卒 岡林康子(旧姓 井口)

私の子供は現在小学二年生、平和学園に通学しています。顧みると二十五年前私も平和学園の生徒でした。緑の小松に包まれた学園での心豊かに楽しく忘れぬ思い出深い六年間でした。

この豊かさと恵みを我が子にも味わわせたいと願いました。

今も続く朝の礼拝は一年生の始めは無茶苦茶で、「誰々さん目を開けていたよ。」と訴える子に、「アラソウ目をつぶっていてよく見えたわね。」と先生は笑って答えられました。こんな状態も上級生の静かな姿勢にいつの間にか感化されて皆良い子になって行きました。

春の遠足、秋の見学、ワイワイとうれしくて、一つ一つをみな覚えていきます。電車の中バスの中では物を食べないこと、大声で話さないことなど皆よく守れました。

いつの日も青い空が美しかった。

今はおおよそバスを利用のようですが社会科で稲のことを習い、理科で石を教われればその都度お弁当と少しのお菓子を持って、赤羽に田植えを見学に行き、相模川の土手に石を拾い、見比べてそれを知り、後は楽しく遊び一日を終えて帰って来た時の子供の満ち足りた様子はたとえようもありません。

この様なことがいかにほどに子供の心に残ることか、有り難いことと思います。

昔の大運動会は盛大でした。今は小さくなたたけれど最大に子供等の楽しい運動会にしようとする先生方や父兄の心遣いは昔も今も変わりなく、「怪我をしない様に祈ります」のお言葉は耳に残ります。

昔のバザーは今の「みのり祭」です。これこそ子供心に楽しく思い出すだけでも溜息の出る思いです。親達はまた、この貴重な一日をいかにしたら学校のため、子供等の楽しさを増せるかと皆心を一つに素直に取組む態度は充実して愛の心一杯です。

昔は修養会といいましたが、親元を離れ先生方の見守りの中で下級生は上級生の庇護の下に全員が自主生活を営みます。これは心に残る得がたい体験でした。私は今になお、自然教室の名称で継がれているのを知り喜びました。今年は一泊三日天城山荘で、我が子も参加しました。意気揚々と少し大人びた感じでシッカリと帰って来ました。

浜辺での砂の造形、木蔭の写生大会、水泳教室、父兄も共に参加のスケート教室と、高学年になったらもっと種々あることでしょう。先生方の生徒の一人一人に対する愛情はキメ細かに、それぞれの個性を見つけ伸ばして下さいます。理解出来るまでと補習までして下さるのには、頭が下がります。

なつかしい鳩のマークの校旗、そして校歌。日本で最初位に出来たPTA歌……。小学校

のいよいよの発展を望む父兄の一人として昔をしのびつつ筆をとりました。



魅力ある学校

三十二年卒 武信扶実子

六年ぶりに平和に戻ってきました。

小学生の時、転々と並んだ二教室一棟の建物がとても好きで、こんな学校はないと密かに誇りに思っていた校舎も、今はなく、その取り壊した後に、四号館と云う中高の近代的な建物がデンと建っています。

六年前に働いていた時は、まだその古い校舎もあって思い出と共に使っていたわけですが、今やその快適な校舎が、私の職場となりました。

この建物の建つ時は、よそから遠く眺め、古い松の木が一本一本切られるのを、なにか体の一部が切られるみたいで心が痛いとつぶやいたものですが、今は中にいて、快適さを喜んでいきます。人間は勝手なものと思うと同時に、やはり学校も時と共に移り変わりながら、歴史を造っていくものなのだと、つくづく思わしめられました。

古いものが何もかも良いのではなく、失ってはならないもの、変わってはならないものは何かを、しっかりとみつめたいものと思えます。

四号館から懐かしい小学生の子供達の遊んでいる様子や、ラジオ体操をしている姿をみて、微笑まじさと共に、ほっとしたものを、おぼえます。なを健在なりと云うことを、心強くも思います。

今や私学の小学校はどこでも大変です。幾つかやめていったニュースも耳にします。しかし、この茅ヶ崎の地にあつて、平和学園は、目立たなくても、キラリと光った存在だと思ふのです。

私の姪は、キリスト教主義学校ではない私学に通っています。彼女は現在二年生で、日曜日には教会学校に通い素直な信仰も育っています。ある日、作文の時間に、人間が戦争などしない様に、弱いものいじめなどしない様に神様においのりをした、と書いたら、

”神さまなんて”と笑われたと云うのです。世の中は強い者は強い、弱い者はどこまでも弱く、目に見える価値判断で全てがはかられます。しかし最も大切な、どんな小さな一人一人も神様によって造られ大切に愛されている事を教えてくれるのは平和です。どんな成績が悪くても（もちろん成績はよくなくてはいけません）体が不自由であっても、人間の重さはまったく同じである事を、毎日の礼拝や、教師との話しあいや、いや作文や、理

科に至るまでも、いきわたっています。

すぐには評価されない、最も大切な宝物を持つているのが、平和学園なのではないでしょうか。

卒業していった子供達は、皆、中学高校でのびています。トップを堂々と走っています。平和学園小学校を、もつともつといい学校に、魅力ある学校に本当に、していきたいと思います。現実の厳しい中で、平和学園に関わる者は同窓会・PTA共々に頑張りたいものと思えます。平和学園は、可能性を沢山沢山秘めた学校だと信じています。

この原稿を書きながら、ふっと「やっとなるかな」とニコニコした顔でのぞきこむ、村島先生の顔を思い出しました。

ワンパタ先生の学校だより

横山 哲夫

自然教室つてのを始めたのは、ありゃいっただったかなあと、この間家内と話し合ったことでした。御殿場の青少年会館というのが出来たばかりでその案内がきたので、二人で見に行つて（その時新婚早々だった）帰りに御殿場駅まで歩いている途中夕立がきて大粒の雹が降った。それが最初でした。その始めのころ、いたずら坊主がいて、自然教室の帰り御殿場駅で汽車を待っていた所、その頃はまだまだ真っ黒い煙を吐く汽車だった、しょつていたリュックから隠し持っていたナイフが顔を

出して、こともあろうに隣に座っていた若い女性の腕を切つてしまった。それで岡崎先生があとに残つてその子と二人で病院に行くことになった。岡崎先生が真っ赤な顔をして、「あの野郎なんであんな馬鹿なことしやがるんだ」と怒っていた。なにか行事をやるとそいういうハプニングの一つや二つ大でいきる。それでもこりないで翌年になるとまた同じことをやる。そんなことのくり返してこの二十年三十年やつて来たなあと思う。

といったわけで私としては、変り映えのないことを馬鹿の一つおぼえのようにはやっています。近頃の子供はそういうことを「ワンパターン」といって馬鹿にします。自然教室はその後場所を捜真の寮や伊豆の天城山荘にしたりしましたが、来年はまた御殿場で、こんどは東山荘でやることになっています。東山湖でイモリをつかまえたり、乙女峠や金時山へ行くことができるでしょう。金時娘に久しぶりに逢えるのが楽しみです。たしか錦織君たち以来逢っていません。

ワンパターンといえれば天文教室も相変わらずやっています。こないだ八月の一日にやりました。子どもたちが二十人くらい。親たちも六七人、北斗七星のミザールとアルコルから始めて、白鳥座のアルビレオ、琴座のイプシロン、さそり座のミュー、ワンスツウ等、おきまりのコースですが、今年西の空に木星金星土星の三つの惑星が見えました。こんなことは三十年間で初めてのことでした。近ごろ

風のたより

真能先生

長年お勤めになりました真能先生は、
お宅の御都合で今年三月退職され、左
記に転居されました。

〒838-01 福岡県小郡市大板井

四二四一九

白井先生

昭和37年9月からお勤めになった白
井先生はたしか46年3月まで小学校に
いらしたと思います。御退職後は、平
塚の娘さんのお宅に居られました。平
塚の娘さんのお宅に居られました。

去年暮れ御就眠されました。

は望遠鏡の買い方なんてのも話します。五万
円以下じゃだめ、貯金してせめて十二、三万
円を買えとか、先生のは今四十万円もする
んだぞとか。なにせ星の話っていうと、百光
年千年はざらだし、アンドロメダ大星雲な
んてのは二百万年前の光を今見てるんだなど
ということになるものだから、平和が今年創
立三十年だ三十五年だなんて聞いても「へえ、
それでどうした？」ということになってしま
う。そういつたわけで私としては、世の中が
どう変わろうが、教育がどう曲がろうが、子供
たちが「やあ面白いなあ、きれいだなあ、不
思議だなあ」と思ってくればそれでいいと
思ってたようなことを相変らずやっています。

同窓会は一昨年十五年ぶりに全校同窓会を
やって、大石君が会長になっていろいろ根回

しをやって来ています。大石君というのは
この三十数年の卒業生の中、この二人兄弟し
かありません。そうそう今年の卒業生で、つ
いにと言ってよいか、やつとと言っているの
か、とも角一千番目が出ました。竹内剛ちゃ
んといつてとてもよく肥った男の子です。記
念になにか贈ったらといったんですが、別に
本人の功績じゃないからと沙汰止みになりま
した。村島先生が生きていらしたらきつと何
かユーモア賞でもあげられたらうと思つたも
のですから、かわりに矢じり石を贈っておき
ました。全校同窓会は三年おきということに
なっていますので来年五六月頃またやること
になっています。今、各学年委員の手によつ
て住所録が整備されつつあります。そのうち
同窓会誌というものもできるでしょう。それ
までのつなぎで、この小学校だよりを年に一
回夏休みに出そうかということ、学校の先
生たちは考えました。それはいいことだなあ
と私も思います。各学年から一回に一人ずつ
書くようにして各人の近況報告をのせても面
白じやないですか。母の日の作文も相変ら
ずやっています。もつと他にやり方はないの
と真能先生に言われましたが、母の日にはこ
れが一番いいようです。

その真能先生も今年三月で退職されました。
九月には九州へ引越したと聞か。真能先生
がいなくなつて、やかましいこと言う人がい
なくなつて良かったなと思つたら、今度は
野口先生が、やれ週案だ年間計画だといつて

私を責めます。前はそんな人じゃなかったの
に、人間で役につくと変わるもんだなあと思
つて眺めています。

この間地図を眺めていたら、また急に山へ
行きたくなりました。二回目三回目に教えた
子供たちとは尾瀬へ行ったりしたものでした。
大脇洋ちゃんとは白馬へも行きました。今度
は立山、剣か、または野口五郎、水晶、三ツ
俣蓮華など、一寸でかい所へ行こうと思つて
います。今教えている五年の悪どもが大きく
なるのを待つてはられないし、高校生が大
学生ぐらいが一番力があって荷物を持たせる
にはいいかな、などと、ごろ寝しながら考え
ています。



☆このこび小学校と卒業生を結ぶこの誌面で、
改めて平和学園教育の本質にふれることがで
きたような気がします。

もっと早くこのようなお便りができると良か
ったと思いますが、今年からでも決して遅く
はありませんし、この輪を広げていきたいと
思います。

☆親としてわが子に与えることができる最大
のプレゼントは、物でもなく形でもない、自
立できる精神、そして、人間性を尊ぶ教育を
受けさせる機会をつくってあげることでなし
いでしょうか。

(野口記)